

鶴見岳・伽藍岳の火山活動解説資料（平成 24 年 8 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 8 月の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

鶴見岳監視カメラ（大分県）による観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 2、図 3）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1※ 鶴見岳・伽藍岳 監視カメラによる鶴見岳・伽藍岳の状況
（8 月 18 日、鶴見岳監視カメラ（大分県）による）

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 9 月分）は平成 24 年 10 月 9 日に発表する予定です。
※この資料は気象庁のほか、国土地理院、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

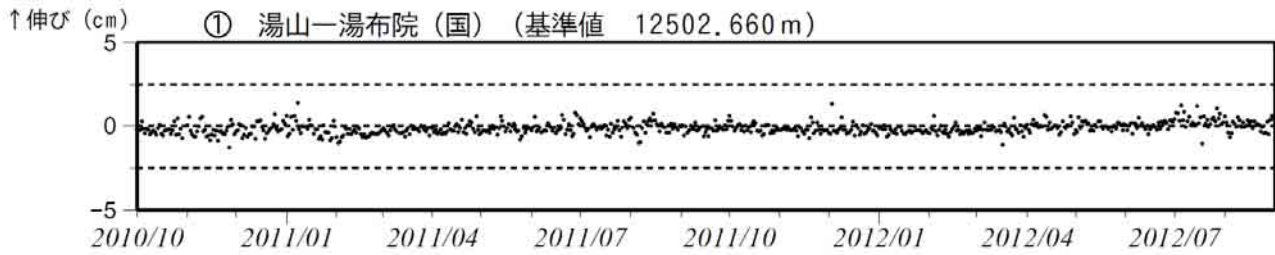


図2※ 鶴見岳・伽藍岳 GPS連続観測による基線長変化（2010年10月～2012年8月）
 < 8月の状況 >
 火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。
 この基線は図3の①に対応しています。

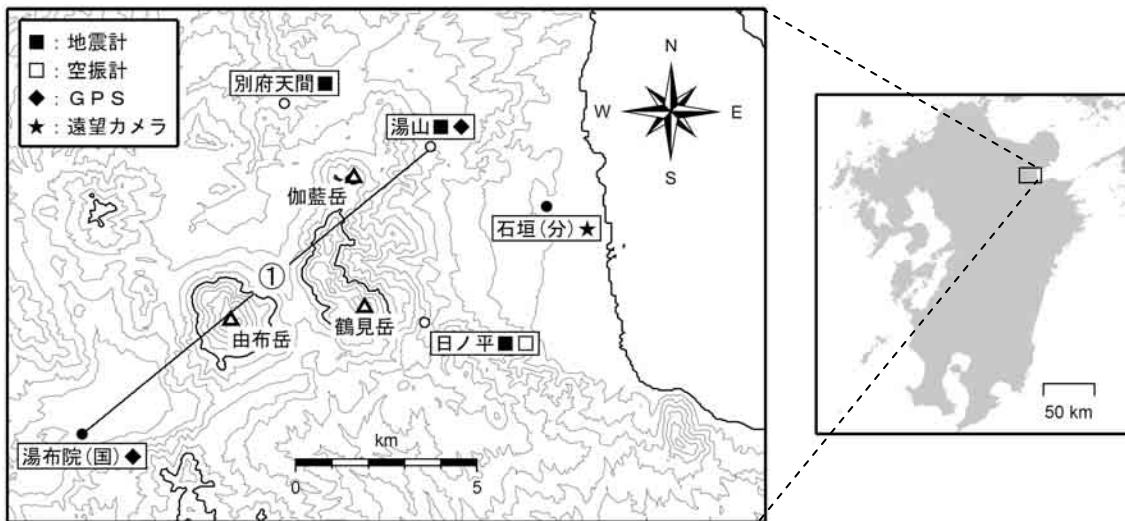


図3 鶴見岳・伽藍岳 観測点配置図
 小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 （国）：国土地理院、（分）：大分県
 遠望観測点「石垣（分）」は鶴見岳監視カメラ（大分県）を示しています。